

第12回 浜松市新型コロナウイルス感染症
対策本部会議

議 事 録

第12回 浜松市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録

1 開催日時 令和3年5月14日（金）
午後4時から午後4時30分まで

2 開催場所 浜松市役所本館5階 庁議室

3 出席状況
本部長以下39名

4 議 題

- (1) 関係部局からの説明、報告等
- (2) 市長メッセージ

5 会議録作成者 危機管理課 計画調整グループ 大隅 駿、加藤 恵一

6 記録の方法 発言者の要点記録（録音の有無：無）

7 会議記録 以下のとおり

- (1) 開会
- (2) 議題

【危機管理監】

関係部局から報告をお願いする。はじめに、感染傾向等の状況について、健康福祉部医療担当部長よりお願いする。

【鈴木健康福祉部医療担当部長】

（資料P1～P3に基づき説明）

【本部長（市長）】

現在の重症者数と中等症者数は。

【鈴木健康福祉部医療担当部長】

重傷者は2名、中等症者は22名。

【本部長（市長）】

軽症で入院している方はいるか。

【鈴木健康福祉部医療担当部長】

軽症で入院をしている方もいる。高齢者が多い。

【本部長（市長）】

病床の確保と軽症者の受入施設の稼働率を上げる必要があるため、フロアごとの清掃から一部屋ごとに清掃できるよう早急に県と調整をする必要がある。また、症状が回復した方を一般病院等に転院できるよう病院間で連携を図り、なるべく重傷者等に病床を確保できるような運用をとること。

【危機管理監】

本日は、浜松市感染症対策調整監である浜松医療センターの矢野邦夫先生にお越しいただいている。感染症状況等についてご説明願いたい。

【矢野感染症対策調整監】

重点医療機関となっている浜松医療センターの臨床現場の状況を伝える。半年前と今では状況がかなり異なる。

現在は、重症化が進み、重症化する年齢層も80歳代から50歳代へと下がってきている。さらに、症状が出てからから悪化するまでの日数が短く、進行も早くなっている。ホテル・自宅療養中の患者の症状が悪化して病院まで緊急搬送されるケースも発生し、医療現場には負担が掛かっている。

【危機管理監】

続いて、安全モードにおける経済対策について、産業部観光・ブランド振興担当部長より願います。

【鈴木産業部観光・ブランド振興担当部長】

(資料P4に基づき説明)

【本部長（市長）】

安全モードにシフトして対応していく必要がある。今のところ、飲食店からのクラスター発生の報告はないが、飲食店が感染源にならないよう安全対策を再確認すること。また、「はままつ安全・安心な飲食店認証制度」の認証を取得していない飲食店については、認証を取得して感染対策を実施していただきたい。不要不急の外出を控えるとなると、デリバリーにも力を入れる必要があるため、「Foodelix（フーデリックス）」のキャンペーンを促進したい。

【危機管理監】

続いて、市民への注意喚起について、企画調整部長よりお願いします。

【石坂企画調整部長】

(資料P 5に基づき説明)

【危機管理監】

その他、報告等あるか。

(報告なし)

本部長（市長）からメッセージをいただく。

【本部長（市長）】

(別紙市長メッセージによる)

(3) 閉会